

# 学校だより(いしがき)

第15号 令和3年9月10日  
文責 校長 石橋 節二 TEL94-2038

## 学校教育目標

「ふるさと中原を担う生徒の育成」

～自律と共同を通して～

今回の学校だよりは、ふるさとの有名神社「西の宮八幡神社(三根校区)」、文化発表会について(お知らせ)警報と注意報、雹(ひょう)と霰(あられ)の違い、故事成語④「温故知新」、新聞難解語句、難読漢字、9月中旬～10月の行事予定です。

## ○西乃宮八幡神社(三根校区)

今回は、三根町史を参考に西乃宮八幡神社について紹介します。

### 《西乃宮八幡神社》※『三根町史』、『みやき sanpo』(みやき町観光協会発行)より

西乃宮八幡神社は三根校区大字西島本分地区にある古い神社です。三根町史には、「**一條天皇の御勅願によって御宮造りがなされ、長徳2年(996年)に御遷座された**」と記載されており、千年以上の歴史があります。室町・戦国時代には、三根地区の武将**横岳氏**が守護神としてあがめた神社でした。次の機会に詳しく紹介しますが、横岳氏は九州の有力武将である**少武氏**の流れをくみ、横岳頼房(1444年没)が西島城を築き、5代にわたってこの三根地区を支配した戦国武将です。西乃宮八幡神社は戦国時代にたびたび兵火にあい社殿等も改築されており、現在の社殿は明治13年(1880年)に改築されたと記録されています。氏子は大字西島地区と上峰町の大字江迎地区の人々で、二月の「お粥さん」、「春祭り」、「夏祭り」、九月の「江見沖神事」、そして十月の「秋祭り」が行われているそうです。

#### 【西乃宮八幡浮立】

三根町史によると、「現在は10月20日に近い日曜日に秋季大祭が行われていますが、その際に本分区の頓宮まで御神幸があり、独特の節回しの格調高い「あんぼん節」を歌いながら御神輿行列に続いて、神楽、浮立のにぎやかなお祭りがくりひろげられる」と記載されています。また、みやき町観光情報誌『みやき sanpo』には、「西の宮浮立は、三養基郡内でも多く分布している行列浮立の一つといわれ、鉦の音を象徴的に表しているのので、別名「ガンガン浮立」ともいわれています。起源については、農作祝いの浮立であるとの言い伝えがあり、数百年の昔から同じ形式で行われてきた」と記載されています。



西乃宮

【三根中学校から北の眺望】



## ○文化発表会について(お知らせ)

令和3年度の中原中学校文化発表会を10月29日(金)3～5校時開催で計画を進めています。

最近では新型コロナウイルス感染が若年層にも広がり、あらゆる教育活動で制限や配慮が要求されています。拡大防止のため、全校生徒を一か所に集めて開催することができないし、しばらくの間、音楽の授業も合唱や器楽演奏ができない状況です。

職員会議で何回も検討した結果、今年は合唱コンクールを文化発表会から分離し、授業で合唱練習が10月に始めることができればと考えています。また、文化発表会の出し物も各学年劇と展示とし、学年劇は事前に収録しておき、生徒は教室でリモート視聴することにしました。保護者の参観につきましては、体育館内に電子黒板を配置しますので、それを観る形式とスマホや自宅のパソコンからも観ることができるように検討してまいりますので、ご承知おきください。ご協力よろしくお願いたします。



【漢字よみ】①みょうり ②かっちゅう ③きつおん ④みえ ⑤けんか ⑥かわち ⑦どきょう

## ○警報と注意報、雹（ひょう）と霰（あられ）の違いは？

皆さんは天気予報で警報や注意報が発令されましたということばを聞くことがあると思います。それでは、警報と注意報はどちらが深刻な状況なのでしょう？私自身、よくわからなかったので調べてみました。

気象庁によると、**注意報**とは「災害が起るおそれがある場合にその旨を**注意**して行う予報」を指し、**警報**は「**重大な災害の起るおそれのある旨を警告して行う予報**」と定義しています。つまり、**警報の方がより深刻な状況です**。それぞれの発表の基準は、風速や潮位や雨量指数などの指標に基づいて設定されています。

注意報や警報の種類は、気象・地面現象・高潮・波浪・浸水・洪水の6種類です。その中で気象に関する内容としては、暴風・暴風雪・大雨・大雪の4種類です。

**特別警報**は、平成25年8月から運用され、予想される現象が**数十年に1度しかないような大災害が起こると予想される場合に発表し、最大級の警戒を呼び掛けます**。特別警報の種類は、気象・地面現象・高潮・波浪の4種類です。

それでは、**ひょう(雹)**と**あられ(霰)**はどう違うのでしょうか？違いは、氷の粒の大きさです。**ひょう(雹)**は直径5ミリ以上の氷の粒が大きくなった氷の塊で、氷の粒が積乱雲の中で上昇・下降を繰り返して大きくなり、ある程度の重さになると落下していきます。**あられ(霰)**は直径5ミリ未満の氷の粒です。また、雪と**みぞれ(霰)**の違いは、雪の結晶が溶けずにそのまま落ちてきたものは雪になりますが、みぞれは雨に湿った雪がまじった降水、または溶けかかって降る雪のことです。



## ○故事成語④

### 温故知新（おんこちしん）

【意味】

- ① 古いことを十分に覚えて、しかも新しいこともわきまえて知るということ
- ② 古いことを大切に研究することで、新しいことを発見するということ

【由来】

孔子（こうし）が弟子たちに言った言葉からこの語ができた。

「故き（ふるき）を温めて（あたため）新しきを知る」 『論語』（春秋戦国時代）

## ○新聞難解語句

**執拗**（しつよう）：しつこいさま。「執拗につきまとう」 自分の意見にいつまでもこだわりつづけるさま。

**トリアージ**（triage）：医療資源が制約される中で、一人でも多くの傷病者に対して最善の治療を行うため、傷病者の緊急度に応じて、搬送や治療の優先順位を決めること。

**芥川賞**：雑誌（同人雑誌を含む）に発表された、新進作家による純文学の中・短編作品のなかから選ばれる。

**直木賞**：新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本（長編小説もしくは短編集）が対象。

**ATM**：Automatic Teller Machineの略。「現金自動預け払い機」

**前代未聞**：今までに一度も聞いたことがないこと。非常に珍しいこと、程度のはなはだしいことにいう。

**有終の美**：物事をやりとおし、最後をりっぱにしあげること。結果がりっぱであること。「一を飾る」

**拮抗**（きっこう）：勢力などがほぼ同等のものどうしが、互いに張り合って優劣のないこと。

**饗宴**（きょうえん）：客をもてなすための宴会。

**肖る**（あやかる）：影響を受けて同様の状態になる。感化されてそれと同じようになる。「彼の幸運に一・りたい」

## ○難読漢字（いくつ読めますか？）

- ①冥利 ②甲冑 ③吃音 ④見栄 ⑤喧嘩 ⑥河内 ⑦度胸

## ○9月中旬～10月の行事予定 ※太文字は全校生徒関係分

- ・全校朝会(3年担当 命・生き方を考える) 9/21 (火) ・新人大会 9/25 (土) →10/9 (土)
- ・スケッチ会 9/28 (火) ・生徒会長選挙 9/29 (水)
- ・中間テスト 10/5 (火)、6 (水) ・地区駅伝大会 10/7 (木)
- ・3年生 SAGA テスト 10/12 (火)、13 (水) ・文化発表会 10/29 (金)